

# 県中域内地域連携担当教職員等研修会

日時：令和2年7月1日（水） 13：20～16：30

場所：郡山市労働福祉会館

参加者：80名

小学校39名 中学校23名 義務教育学校1名 県立高等学校8名 県立特別支援学校6名 行政関係者2名



**講話：「地域と学校の連携・協働」 13：30～14：30**

**講師：福島県教育庁社会教育課社会教育主事 太田 徹**

- 地域連携によって、学力の向上や地域への理解など児童が得られる効果や授業の充実や地域との信頼関係の構築など学校が得られる効果、地域コミュニティの活性化や住民の生きがいづくりなど地域が得られる効果についての話がありました。
- 地域と学校の連携・協働の視点について説明があり、これから地域連携担当教職員が果たす役割や実際の学校で行う具体的な地域連携活動についての話がありました。

**講演：「地域と連携した活動を進めるために」 14：10～15：40**

**講師：栃木県教育委員会生涯学習課社会教育主事 小山田 佳子 氏**

- 地域連携担当教職員には、計画を立案したり研修を運営したりする「プランナーの役割」や、情報を収集し連絡調整をする「コーディネーターの役割」、活動の支援をする「アドバイザーの役割」と3つがあると説明がありました。
- 効果的・効率的に地域連携活動を実践できているかを振り返るチェックリストについて説明がありました。その中で、校内研修の実施について触れ、教職員の共通理解を図り、学校全体でチームとして地域連携に取り組むことの大切さについて話がありました。参加者からは「学校でも研修を実践して、共通理解のもと地域連携に取り組みたい」という意見をたくさんいただきました。
- 質問紙を使ったアンケートや事前打ち合わせの用紙の紹介があり、学校ですぐに活用できる素材を提供していただきました。また、演習では地域連携計画を作成し、グループで交流しました。参加者からは「これから地域連携を進めるためのヒントを得ることができた。」との声がありました。



小山田先生の講演

**事例紹介：「県中域内の実践事例について」 15：50～16：20**

**発表者：県中教育事務所総務社会教育課社会教育主事 高宮 裕**

- 須賀川市立長沼中学校の「長沼まつり」や「奇跡のあじさいと熊本県の中学校との交流」の実践を紹介するとともに、地域連携担当教職員のかかわり、地域ボランティアの方々の協力など、地域と一体となった長沼中学校の取組について発表しました。
- 県中域内の地域連携担当教職員の実態と学校現場でできることについて説明しました。